

2024 年 2 月 29 日

株式会社ベネッセホールディングス

代表取締役社長 CEO 小林 仁

ベネッセ、女性のキャリア支援サービス メンタリング対話サービス「withbatons」を 6 月から開始 試行段階で 8 割以上の女性がモチベーション・管理職昇格意欲を向上

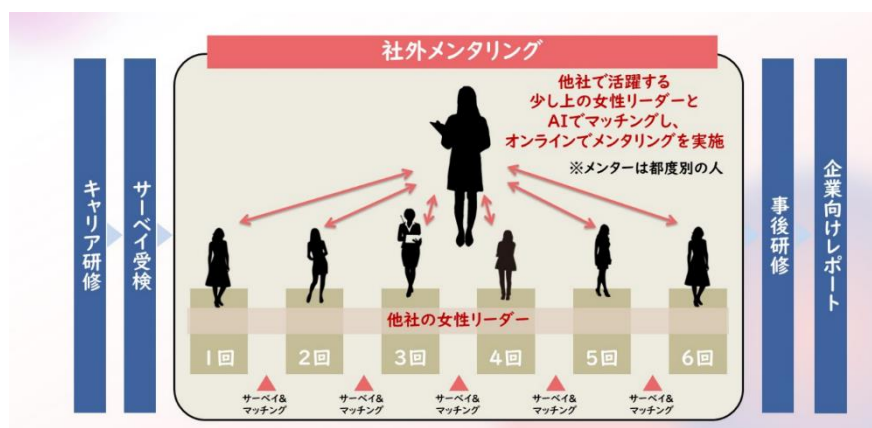
株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：小林 仁、以下：ベネッセ）は、20～30 代の若手女性社員のキャリア形成を支援するメンタリングサービス「withbatons(ウィズバトンス)」を、2024 年 6 月よりスタートします。これに先立ち、事前申込を 2 月 29 日より開始いたします。



本サービスは、「キャリア研修」「サーベイ」「メンタリング」がセットになった半年間のプログラムで構成され、サーベイ結果からマッチングされた異なる経歴を持つ 6 名の女性メンターと 1 対 1 で対話を重ねます。メンターは、他社でリーダー経験をもつ 30 代後半～50 代の女性社員で、コーチングなどの資格の有無は問わず、より身近な先輩の「リアルなキャリアストーリー」を聞くことができます。さまざまな経験・バックグラウンドをもつメンターとの対話を通じて、若手女性社員が自分のキャリアをイメージ・構築していくことをサポートします。



ベネッセの女性キャリア支援
withbatons



【サービスの開発背景】

本サービスは、ベネッセグループ社内提案制度「[B-STAGE](#)」から生まれました。女性を取り巻く就労環境が大きく変わるなか、すでに多くの企業がダイバーシティ指標の開示積極化や、女性役員比率を 30%以上にする目標を設定するなど、女性支援の取り組みを強化しています。一方、女性社員側は、約 9 割の若手女性社員が「管理職になりたくない」と答えており(※1)、自身のキャリアについて男性に比べて、より不安を感じている現状があります(※2)。

こうした状況を変えたい、様々なシーンで活躍することが期待されている女性たちが、自信を持って、自分のキャリアを切り拓き、前を向いてまっすぐに成長し続ける、その伴走をしたいとの問題意識をもったベネッセ女性社員が、「女性がキャリア形成への不安が

大きいのは、周囲に身近なロールモデルが少ないこと、女性のライフイベントは多様であることが一因ではないか」という仮説のもと、「B-STAGE」に応募し、3,000 件以上のエントリーから特別賞を受賞しました。その後、1 年間の実証研究を経て、このたび本サービスの提供開始に至りました。

【実証研究について】

サービス開発にあたり、従業員数 1,000 名以上の大手企業 25 社にご参加いただき、実証研究を実施しました。その結果、メンタリングを受けた前後でキャリアの見通しが立った人は 40%増加、管理職への意欲を高めた人が 18%増加するといった結果を得ました。また、メンタリングを受けたことで「今の仕事を新たに頑張ってみようと思った」女性が 8 割を超し、転職意向も減少することが実証されました。

一方、メンター側も、マネジメントスキルや業務へのモチベーションに好影響があるなど、相談に乗る女性も相談をする女性も「越境の出会い」が現業への意欲を高めることがわかりました（※3）。これらの結果から、社外の先輩女性の価値観に触れ、本音で語り合うことは、実効性の高い女性支援につながると考えられます。

【サービス概要】

- 正式名称 withbatons（ウィズバトonz）
- WEB サイト URL : <https://mentoring.benesse.co.jp/withbatons/>
- サービス形態 法人契約（企業、団体、組織、部署など単位は問いません）
メンティー1 名から利用可能。メンティーの人数に応じて利用料金が設定されます。
- サービス内容 登録企業に所属する若手女性社員に対し、以下①～④のプログラムを半年間で実施後、対象企業へ⑤を提供します。
 - ① キャリア研修⇒②サーベイ診断⇒③社外メンタリング（計 6 回）⇒④事後研修⇒⑤企業向けレポート
- メンターについて <応募条件>
 - ・女性の方、30 代後半～60 代前半、正社員として就労中
 - ・過去 5 年以内に従業員 300 人超の企業、官公庁などで勤務
 - ・管理職、もしくはプロジェクトなどのリーダー経験あり
 - ・若手女性のキャリアを応援したい気持ちありメンターはベネッセと面談後、直接契約を結び活動します。副業としても登録可能です。
- マッチングについて メンター、メンティー共に、自身のこれまでのキャリアや現在の就労状況・生活環境、話したい・話せるテーマの登録をもらい、その内容をもとにベネッセで独自に構築したアルゴリズムを活用して、マッチングを実施します。

<参考データ>

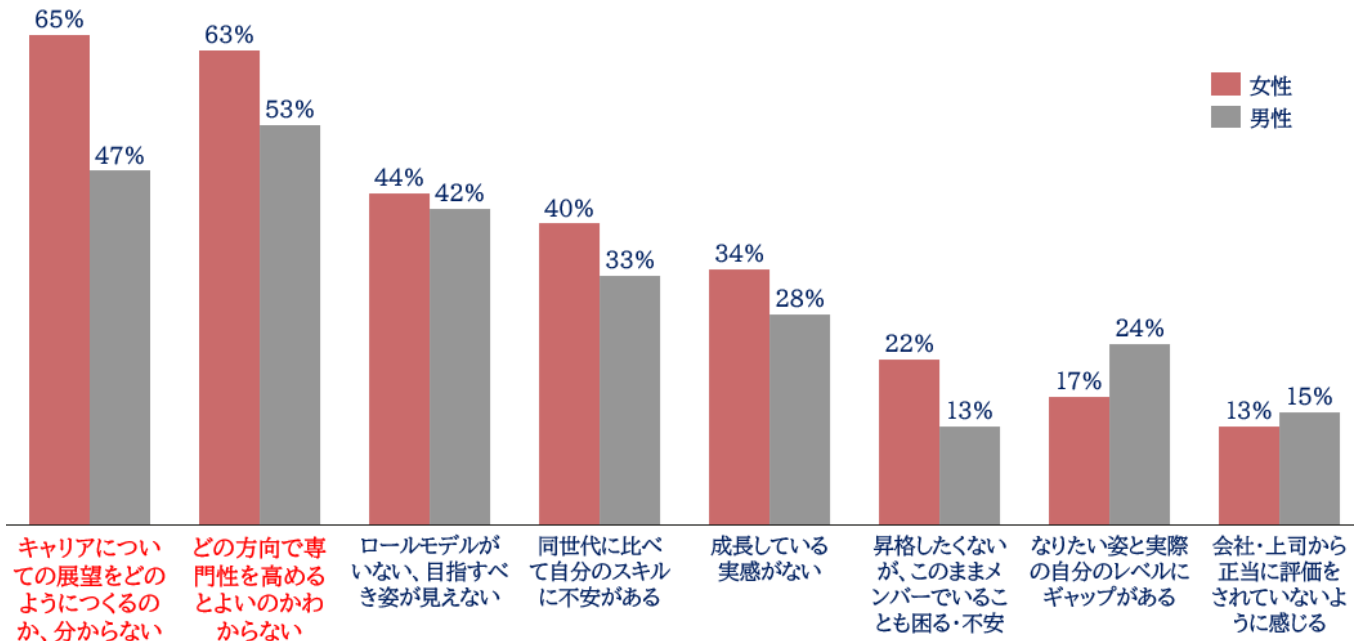
※1：管理職への意欲度

「管理職になりたいですか？」という質問に対し、「なりたくない」と回答した割合：87%、「なりたい」と回答した割合：13%

【調査概要】ベネッセコーポレーションによるインターネット調査、期間：2022 年 8 月、対象：20～30 代非管理職の会社員女性 30 名

※ 2 : キャリア上の悩み 男女差

「あなたのキャリア上の悩みは何ですか？」(MA)



【調査概要】ベネッセコーポレーションによるインターネット調査、期間：2022 年 9 月、対象：20～30 代非管理職会社員、有効回答数：174 名（女性：99 名、男性：72 名、非回答：3 名）

※ 3 : 実証研究（トライアル）の結果

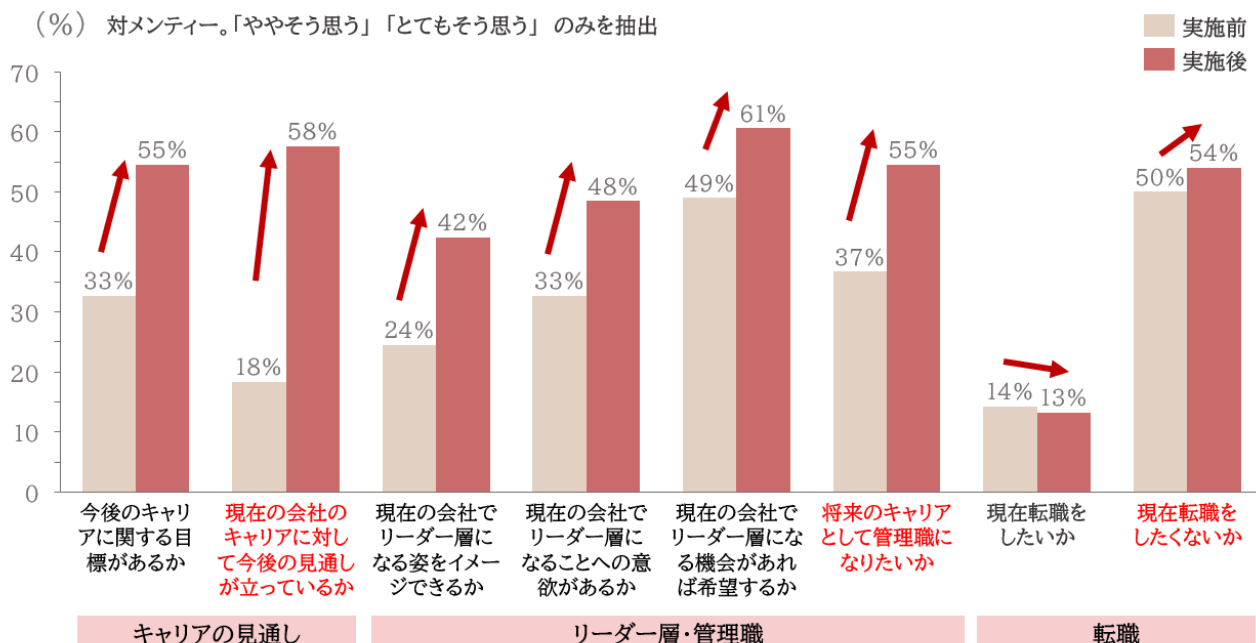
実施期間：2023 年 7～9 月、メンティー95 名（20～30 代管理職手前層）、メンター89 名（40～50 代のリーダー・管理職）が参加。メンティーは 2 回のメンタリングを実施、メンターは回数制限なし。

1) 対メンティー

各設問に対し、「ややそう思う」「とてもそう思う」と回答した方の割合

トライアルの結果＜メンティー＞

(%) 対メンティー。「ややそう思う」「とてもそう思う」のみを抽出



2) 対メンター

各設問に対し、「ややそう思う」「とてもそう思う」と回答した方の割合

トライアル結果＜メンター＞

1回目終了後(n=56) 2回目終了後(n=31) 3回目終了後(n=22) 4回目終了後(n=11) 5回目終了後(n=5)

対メンター。「ややあてはまる」「とてもあてはまる」「あてはまる」のみを抽出

今後の自分の部下・
チームマネジメントに生かせると感じた

メンティーの話を聞いて、現在の会社で仕事を
さらに頑張ってみようという気持ちが生まれた

メンタリングの時間は
有意義であったと感じた

